

# かわらばん

## 冬の足音が聞こえてきました



栗原市蓬田地区で振舞われた食事



大崎市鬼首地区で展示された神楽の衣装

県では、平成28年度から、農山漁村地域の魅力や課題の掘り起こしや、地域の将来像実現に向けた活動を企画する話し合いを行うとともに、企画した活動を円滑に行えるようサポートをすることで、地域の体制づくりを支援しています。

今年度は、6つの地区で当事業を活用しています。

今回は、11月20日に行われた栗原市蓬田地区の「秋の収穫祭」と、11月20日・21日に行われた大崎市鬼首地区の「山の文化祭」の様子を紹介します。

### おなかいっぱい

栗原市蓬田地区では、9月から10月にかけて収穫した農作物を地域住民に振舞う「秋の収穫祭」が開催されました。

収穫祭では、ずんだづくりとそば打ちの体験が開かれ、収穫作業から手伝っていたでいる尚絅学院大学の学生2人が体験しました。ずんだづくりでは「豆をすりつぶすのが想像以上に難しい」と、苦戦している様子でした。そば打ちでも、なかなかコツを掴めず苦戦したものの、地元の方の丁寧な指導により、美味しいそばを打つことができました。

収穫祭では、ふかし芋、ずんだ餅、茹でた力ボチャ、打ちたてのそばが振る舞われました。地域の女性の協力もあり、秋の実りをおなかいっぱい味わうことができました。

### 貴重な道具の数々

大崎市鬼首地区では、「山の文化祭」が開催されました。文化祭に合わせて、鬼首神楽保存会が、神楽の演舞で使用する着物やお面などの道具類を会場に展示しました。

普段は間近で見ることができない着物やお面をじっくり見ることができ、貴重な機会となりました。お面はそれぞれ特徴のある表情をしており、着物は柄や色が繊細で、思わず時間を忘れて見入ってしまいます。

これらの着物やお面を使用した鬼首神楽は、鬼首神楽保存会によって地域内外のイベント等で公演されています。詳しくは鬼首神楽保存会にお問い合わせください。



展示された神楽のお面



展示された神楽の衣装



そば打ち体験



ずんだづくり体験

普段はこんなに間近で見ることができない着物やお面。鬼首神楽の演舞を観てみたくありませんか。

ずんだづくりもそば打ちも初めての体験。地域住民の皆様から丁寧に教えていただきました。